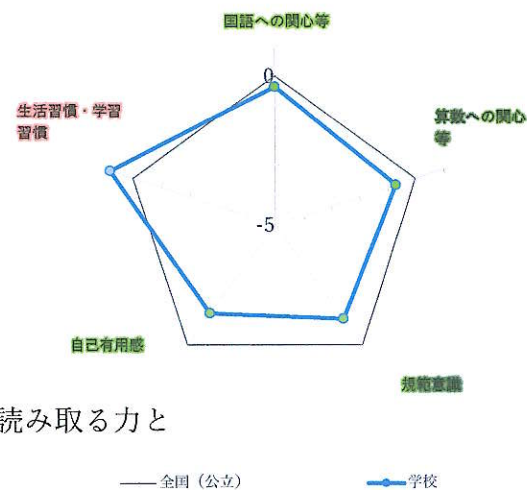
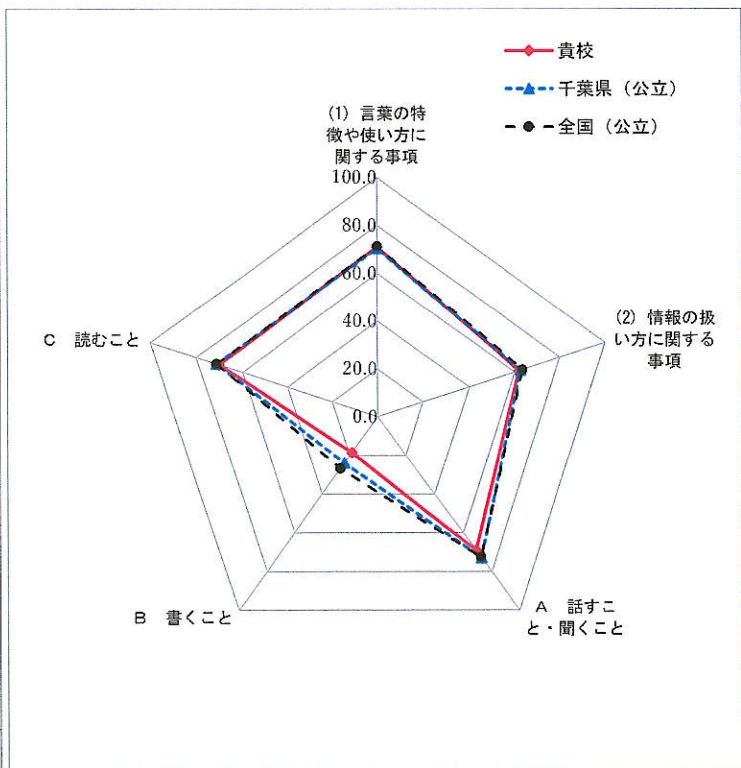


分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴校	千葉県(公立)	全国(公立)	
全体		14	65	67	67.2	
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	71.0	70.4	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	61.8	62.5	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	69.0	72.8	72.6
		B 書くこと	1	18.6	24.0	26.7
		C 読むこと	3	70.3	71.3	71.2
評価の観点	知識・技能	7	68.3	68.2	68.9	
	思考・判断・表現	7	62.3	65.2	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	72.3	73.4	73.6	
	短答式	2	63.7	61.2	62.7	
	記述式	3	45.4	50.1	51.1	

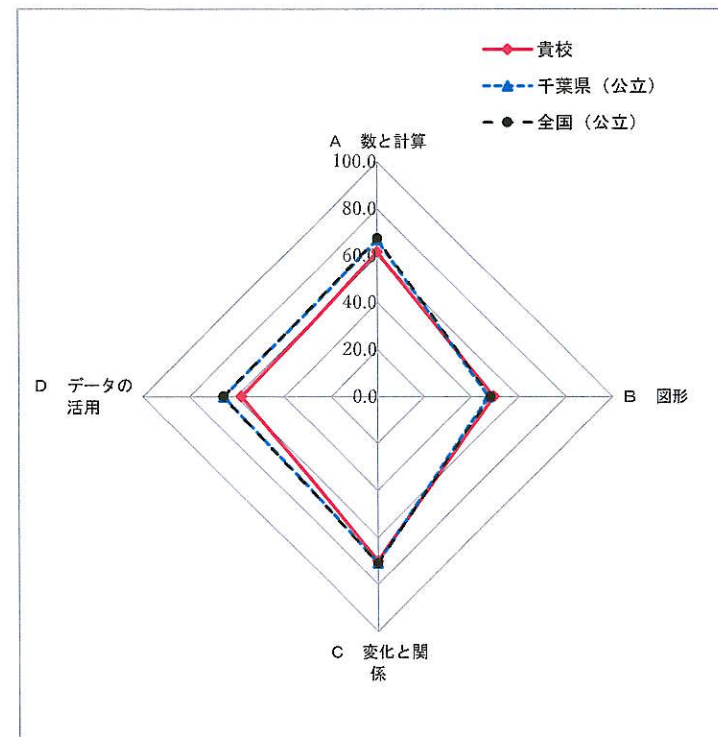


【国語】

- 「短答式」の正答率は全国平均を上回りました。
- 全体的な正答率が全国平均を下回りました。特に「書くこと」に関しては大きく下回っています。「短答式」では全国平均を上回った点に対し、「記述式」の正答率が低いのも、自分の意志や思いを表現することが苦手な児童が多いことが伺えます。
- 国語への関心も全国を下回りました。また、無解答の児童が全体的に多かったです。まずは、問題文をしっかりと読み取る力と取り組む意欲の向上が必要だと感じます。

今後は読書活動を充実させることで語彙力の拡充や、読解力の向上を目指しつつ、国語への意欲を高められるようにしていきます。また、文章を要約したり、意見を伝えたり書いたりする学習活動を多く取り入れ、書くことに対する抵抗をなくしていきます。

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	千葉県(公立)	全国(公立)
全体		16	59	62	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	61.6	66.9	67.3
	B 図形	4	49.5	47.4	48.2
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	69.9	70.7	70.9
	D データの活用	3	57.8	65.3	65.5
評価の観点	知識・技能	9	64.6	66.8	67.2
	思考・判断・表現	7	52.7	56.0	56.5
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	55.7	57.2	57.7
	短答式	7	72.1	74.4	74.7
	記述式	4	41.7	46.7	47.3



#### 【算数】

- 「図形」に関しては全国平均を上回りました。昨年度も同じ傾向が見られました。
- 他の領域では全体的に下回る結果となりました。また、「データの活用」に関しては大きく下回っています。複数のグラフから情報を読み取ることが苦手な児童が多いことが伺えました。
- 「記述式」の正答率が「選択式」「短答式」に比べて低くなっています。国語の「書くこと」の正答率がこちらにも影響していると考えられます。
- 算数に対する「関心」も全国平均を下回りました。また、無解答率も全国平均を上回る問題が多く、算数への意欲の向上が必要だと感じました。

校内の研修体制を充実させていきます。タブレット学習やチャレンジ問題など、意欲を高められるような取り組みを職員全員で行っていきます。

#### 【その他】

- 「生活・学習習慣」に関しては高い数値が出ていました。意欲的に学校生活が過ごせていることが伺えました。
- 自己有用感（他者から認められている気持ち）が低いです。コロナ禍で対人関係が希薄になりがちだった部分もあると思いますが、今後はコミュニケーションをとる機会を増やし、しっかりと達成感を味わわせる取り組みを行っていきたいです。